

インターネットで知り合った人と 会うことの危険性について

みなさんは、SNSなどのインターネット上のサービスで、会ったことのない人とやりとりをしたことはありますか。共通の話題や趣味などをきっかけにやりとりをしているうちにそうした人と仲良くなり、実際に会おうという話になった、といった経験がある人も中にはいるのではないのでしょうか。

しかし、いくら仲良くなったからといって、実際に会うことはとても危険です。場合によっては、事件に巻き込まれてしまうこともあります。

顔が見えない相手だからこそ信じてしまいやすい

ではそもそも、なぜインターネット上で知り合った人を信用して会いに行ってしまう人がいるのでしょうか。それはインターネットでのやりとりの特徴と関係しています。

インターネットでのやりとりでは、お互いの顔が見えません。そのため、顔写真や年齢、性別などのプロフィールについて、簡単にうそをつくことができます。インターネットには、相手を信用させるために、同性や同年代の人を装って近づいてくるような人もいます。

また、インターネットのやりとりでは、相手の情報が少ないからこそ信用してしまいやすい、といった部分もあります。

対面の会話であれば、相手の様子を見てその人が信用できるかどうか判断します。例えば、悩み事を打ち明けたときに、相手が真剣に聞いてくれているなど感じたら、自分の目で確認することができます。

しかし、インターネットのやりとりでは、そうした情報が入ってきません。文字だけで相手のことを判断します。そのため、相手からやさしい言葉をかけられただけで、「自分のことをちゃんと考えてくれるいい人だな」と、簡単に相手を信用してしまうことがあるのです。

まとめ

インターネットには、犯罪行為などを目的に近づいてくるような悪い人がいます。長い間やりとりをして相手を信用させた上で、「会おう」と誘い出してくるような人もいるため、どれだけ仲良くなったとしても、会ったことのない人と気軽に会うことは危険です。

事件に巻き込まれることもあるため、もし、そうした人からしつこく誘われたりするような場合は、一人で解決しようとはせず、すぐに周りの大人たちに相談するようにしましょう。